



# 第46回日独スポーツ少年団 同時交流事業のご報告



第46回日独スポーツ少年団同時交流(受入)事業として、ドイツスポーツユース所所属の9名が来県し、宮古市で5日間、同市内の青少年と交流しました。

日独スポーツ少年団交流は、日独双方の青少年スポーツ団体の最も大きな組織である日本スポーツ少年団とドイツスポーツユース所との国際交流で、毎年ほぼ同時期に受け入れと派遣が行われています。

受け入れ事業は120名のドイツ団が来日し、大阪で2日間の研修を行った後、10名前後のグループに分かれて各地でホームステイをすると共に、スポーツ交流や視察研修等のプログラムを約18日間に渡り実施する交流事業です。

8月2日

青森県・秋田県で交流を終えた9名(団員8名指導者1名)が宮古市に到着し、宮古市長表敬訪問



青森県・秋田県で交流を終えた9名(団員8名指導者1名)が宮古市に到着し、宮古市長表敬訪問

8月3日

マリンスポーツ体験・漆塗り工芸体験・空手



地元高校生とコミュニケーションをとりながらヨットの操作



オンリーワンの箸づくりに挑戦

8月4日

重茂・鯉ヶ崎灯台、重茂味まつり参加、和太鼓体験



本州最東端  
高さ34メートル  
鯉ヶ崎灯台にて

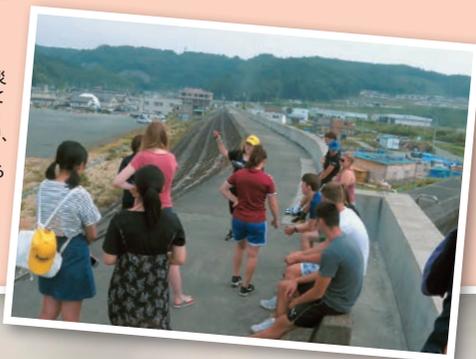


和太鼓の迫力と叩く楽しさに魅了

8月5日

学ぶ防災体験・野球・海水浴・ニュースポーツ体験  
お別れ会

東日本大震災津波についてガイドさんの話を聞いたり、映像を見て衝撃を受ける



お別れ会 お世話になった宮古市の皆さんと

言葉・文化・慣習の異なる両国の若者がこの交流をとおして、広い視野を持った人間として今後の活動に生かし、また、将来の指導者として成長してくれることを期待しています。